

ウクライナの復旧・復興支援に関する共同宣言

我々、G7首脳は、戦時および平時において、現在および将来にわたり、ウクライナへの揺るぎない支援を再確認する。プーリアG7首脳コミュニケで述べたとおり、国際的なパートナーとともに、ウクライナとウクライナの人々に軍事、財政、人道及び復興の支援を提供する決意に変わりはなく、ウクライナの緊急の短期的資金ニーズを満たす支援並びに、ウクライナの長期的な復旧・復興支援に強くコミットしている。

我々は、時はロシアに味方している、あるいは、ウクライナを経済的に破綻させることによりロシアが打ち勝つことができるといったあらゆる誤った考えを払拭する。ロシアの侵略戦争はウクライナの都市やインフラに甚大な被害をもたらした。本日、我々は、その影響に対抗するための一連のコミットメントを再確認する。

第一に、ロシアが生じさせている損害を賠償するロシアの国際法上の責任は明確である。我々は、ロシアが侵略をやめ、ウクライナに対して自らが生じさせた損害に対してロシアが支払を行うまで、全ての適用可能な法令及びそれぞれの法制度と整合的に、我々の管轄下にあるロシアの国家が有する資産を引き続き動かさないようにしておくことを再確認する。

第二に、我々は、ウクライナが安定的なマクロ経済を維持することを確保し、エネルギー分野を含む重要なインフラの修復及び整備を行い、経済成長を促進し、社会の強靱性及び優先的改革事項の実施を支援するために、我々の経済的な支援を活用することにコミットする。これらは、EU加盟プロセスの文脈における、ビジネス環境の改善、汚職対策の取組の強化、司法制度改革の実施及び法の支配の推進を含んでいる。我々はまた、ウクライナがドナーからの資金を迅速かつ透明性をもって執行できるように支援を行う。

第三に、我々は、ウクライナへの約500億米ドルの追加的な資金を利用可能とするために、「ウクライナのための特別収益前倒し(ERA)融資」を本年末までに立ち上げるというプーリアにおけるG7サミットでの決定を実行に移すための共同作業を継続している。融資は、欧州連合及びその他の関係する管轄下にあるロシアの国家が有する資産が動かさないようになっていることに起因する、将来の特別な収益のフローにより利払いされ返済される。この資金の一部は、ウクライナへの

軍事的な支援に向けられる。我々は、ウクライナにこの支援を提供するとの我々のコミットメントについて、連帯を維持する。

第四に、ウクライナ・ドナー・プラットフォームを通じて、ウクライナの経済復旧及び復興に向けた支援を戦略化、調整、推進することによっても、我々のビジョンを追求し続ける。これには、民間部門の貢献を促進すること及び二国間、欧州連合、国際金融機関の資金を活用すること、ウクライナのEU加盟に向けた改革アジェンダを奨励することが含まれる。我々は、人道上のニーズや社会的保護への我々の継続中の対応を通じて、ウクライナの人的資本を支援しつづける。

最後に、我々は、ウクライナ・ドナー・プラットフォーム会合及び2025年にイタリアによって主催される次回の年次のウクライナ復興会議を通じて、これらのコミットメントの進捗状況を評価し、注視し続ける。

上記のコミットメントを実施するために、我々はそれぞれ、この共同宣言と、ウクライナとの間で交渉し署名された二国間の安全保障上の合意と取決めに沿った、具体的な二国間支援をウクライナに提供するために、取組を行う。

その一環として、ウクライナは、経済、司法、汚職対策、企業統治、防衛、行政、公共投資管理、法執行の改革を実施することにコミットしている。これらの改革は、ウクライナの復興・復旧に対する長期的な支援を可能にするために必要であり、今後も不可欠である。

我々のメッセージは明確である。すなわち、我々は、国際的に認められた国境内において、自由で独立し、民主的で主権を有するウクライナが繁栄し、自国を守ることができるという戦略的目標に引き続きコミットする。我々は、包摂的かつジェンダーに配慮した復旧並びにロシアによる侵略戦争から不均衡に影響を受けている女性、子供、障がい者及びその他の人口集団の異なるニーズに対処することの重要性を強調する。ウクライナの復興・復旧に対する我々の共同の支援を通じて、ロシアがウクライナを服従させるという目的を達成できないようにし、ウクライナがロシアの侵略戦争から脱した暁には、ロシアの脅威に耐え得る、近代化され、活力に満ち、包摂的な社会と革新的な経済が実現されるよう確保する。ウクライナの長期的な復興・復旧を支援するこの取組に貢献したいと考える他の国々は、いつでもこの共同宣言に参加することができる。